はじめよう、つづけよう。
「新北海道スタイル」
～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

随 時 記 者 発 表

項　　目	「令和４年度北海道教育実践表彰」賞状授与について			
区 分 等	発　　表	月　日　時　分	説明者	
	資料配付	３月　３日　時　分		
添付資料	・「令和４年度北海道教育実践表彰（教委職員表彰）」実施要項 ・「令和４年度北海道教育実践表彰（教委職員表彰）」被表彰者一覧 ・「令和４年度北海道教育実践表彰（教委職員表彰）」表彰概要			
発表要旨	１　内容 北海道教育委員会では、学校の教育活動等に意欲的に取り組み、特に優れた実践活動を行っている教職員を表彰し、もって教職員の意欲や資質能力を高め、学校の活性化を図り、本道の学校教育の振興に寄与することを目的として、標記表彰を行っております。 この度、受賞者に対し、日高教育局　行徳義朗　局長が、学校を訪問し、賞状を授与する予定ですので、お知らせします。 ２　日時 令和５年（2023年）３月９日（木）10:10～10:25 ３　会場 北海道浦河高等学校　校長室 ４　受賞者 北海道浦河高等学校　教諭　舟田　彩一朗			
報道に当たってのお願い	積極的な報道をお願いします。			
担　　当	北海道教育庁日高教育局 教育支援課長　鈴木　毅（TEL 0146-22-9490） 教育支援課教育支援係長　吉岡　広樹（TEL 0146-22-9491）			

令和４年度北海道教育実践表彰実施要項
～　教職員表彰　～

１　目　的

学校の教育活動等に意欲的に取り組み、特に優れた実践活動を行っている教職員を表彰し、もって教職員の意欲や資質能力を高め、学校の活性化を図り、本道の学校教育の振興に寄与することを目的とする。

２　表彰の対象

⑴ 公立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校（全・定別）、中等教育学校及び特別支援学校に勤務し、別記１に該当する教職員であること。

⑵ 原則として推薦年度の4月1日時点において、教職員経験10年以上の教職員であること。

３　表彰候補者の推薦

⑴ 推薦の観点

ア　幼児、児童又は生徒の指導に情熱を傾け、教職員としての研修を意欲的、創造的に行い、別記２に記載する分野において、その実践活動の実績が特に顕著な者であること。

イ　校務又は事務の簡素効率化等に情熱を傾け、教職員としての研修を意欲的、創造的に行い、別記２に記載する分野において、その実践活動の実績が特に顕著な者であること。

ウ　地域に根ざした教育活動を行い、その実践活動の実績が特に顕著な者であること。

⑵ 推薦の方法

ア　道立学校長及び市町村教育委員会教育長は、別記３の区分に基づき、別に定める推薦調書により所轄教育局長に推薦する。

イ　教育局長は、上記⑵アにより推薦のあった者及び教育局長が推薦する者の中から、７件以内を選考し、教職員局教職員課職員制度室長に推薦する。

４　被表彰者の決定

推薦のあった者の中から、別に定める北海道教育実践表彰選考会議の意見聴取を経て、北海道教育委員会が決定する。

別記１　表彰の対象となる教職員の範囲

校長、教頭、主幹教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、園長、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師、事務長、事務職員、学校栄養職員、実習助手、技術職員、寄宿舎指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等

別記２　表彰の対象となる実践活動の分野等

教　育　職　員	行　政　職　員
①　教科・道徳・総合的な学習（探究）の時間・特別活動・外国語活動の指導	①　校務又は事務の運営改善、簡素効率化
②　特別支援教育	②　教育環境の保全・整備
③　生徒指導・進路指導等	③　学校事務等の課題に係る研修
④　学級（ホームルーム）経営	④　事務職員等の資質向上
⑤　安全指導	⑤　地域とともにある学校づくりへの貢献
⑥　保健指導	⑥　その他先導的・模範的な取組
⑦　食に関する指導	
⑧　その他先導的・模範的な取組（ＩＣＴを活用した教育活動、地域に根ざした教育活動を含む）	

別記３

対　象　者　の　区　分	推　　薦　　者
市町村立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校に勤務する教職員	当該市町村教育委員会の教育長
道立の高等学校、中等教育学校及び特別支援学校に勤務する教職員（校長を除く。）	当該道立学校の校長
道立の高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長	所轄の教育局長

1　学校表彰

９校（小学校２校、中学校３校、義務教育学校１校、高等学校２校、特別支援学校１校）

学　　校　　名
仁木町立仁木小学校
初山別村立初山別小学校
北広島市立東部中学校
八雲町立八雲中学校
大樹町立大樹中学校
釧路市立阿寒湖義務教育学校
北海道苫前商業高等学校
北海道標津高等学校
北海道旭川盲学校

2　教職員表彰

31名（小学校10名、中学校７名、高等学校９名、特別支援学校５名）

氏　　名	学　　校　　名	職　名
大山　勝己	滝川市立滝川第二小学校	教諭
深澤　健太	石狩市立花川南小学校	教諭
中澤　文彦	苫小牧市立苫小牧東小学校	教諭
松原　知未	奥尻町立青苗小学校	教諭
木村　智美	東川町立東川小学校	教諭
八重樫　裕希	礼文町立礼文小学校	教諭
柏谷　めぐみ	枝幸町立枝幸小学校	教諭
西村　亮子	湧別町立湧別小学校	教諭
大井　弘幸	音更町立柳町小学校	教諭
野田　哲史	鶴居村立鶴居小学校	教諭
加藤　孝章	江別市立大麻東中学校	教諭
清水　　馨	小樽市立潮見台中学校	教諭
山下　孔基	小清水町立小清水中学校	教諭
吉能　康大	帯広市立帯広第二中学校	教諭
澤辺　　渉	幕別町立忠類中学校	教諭
野上　奈美子	帯広市立川西中学校	教諭
柴田　敬祥	釧路市立幣舞中学校	教諭
若藤　妃加莉	北海道夕張高等学校	教諭
土居　早苗	北海道札幌東陵高等学校	教諭
鈴木　貴史	北海道倶知安農業高等学校	教諭
土生　紘太郎	北海道倶知安高等学校	教諭
舟田　彩一朗	北海道浦河高等学校	教諭
磯波　理恵	市立函館高等学校	教諭
佐藤　俊行	北海道旭川東高等学校	主幹教諭
中村　公一	北海道標津高等学校	教諭

佐　藤　正　三	北海道中標津農業高等学校	教　　諭
八　木　郁　朗	北海道新篠津高等養護学校	教　　諭
奥　野　雅　理	北　海　道　余　市　養　護　学　校	教　　諭
大　槻　啓　二	北海道今金高等養護学校	教　　諭
池　田　文　宏	北　海　道　鷹　栖　養　護　学　校	教　　諭
金　谷　しほり	北海道釧路鶴野支援学校	教　　諭

3　若手教職員等奨励賞

15名（小学校９名、中学校２名、高等学校３名、特別支援学校１名）

氏　　名	学　　校　　名	職　名
大　野　寛　文	深川市立一已小学校	教　　諭
近　藤　美　来	留寿都村立留寿都小学校	栄養教諭
川　田　　紬	旭川市立東光小学校	教　　諭
宮　田　一　央	網走市立白鳥台小学校	教　　諭
井　上　大　輔	紋別市立潮見小学校	教　　諭
野　尻　　智	紋別市立紋別小学校	教　　諭
渡　辺　紋　望	網走市立網走小学校	教　　諭
川　村　まどか	広尾町立広尾小学校	教　　諭
塩　沢　祐　菜	中標津町立中標津東小学校	教　　諭
大久保　拓　弥	大樹町立大樹中学校	教　　諭
大　内　拓　哉	釧路市立春採中学校	教　　諭
山　形　　慶	北海道函館中部高等学校	教　　諭
濱　中　聡　志	北海道名寄高等学校	教　　諭
大　淵　貴　志	北海道紋別高等学校	教　　諭
久　守　勝　武	北　海　道　旭　川　盲　学　校	教　　諭

令和４年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管　内	後志	学校名	北海道倶知安高等学校		校長名	谷　川　敬　一	
氏　名（ふりがな）	土　生　紘太郎（はぶ　こうたろう）	職　名	教諭	年　齢	33 歳	教職員経験年数	10 年
教育実践のタイトル	授業改善及び評価と指導の一体化に向けた取組						
教育活動	長年にわたり、英語教諭として、地域の特性を理解し、生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図るため、積極的な授業改善に取り組み、国際理解教育を推進する中で、授業はもとよりクラブ活動等を通して、創意工夫ある教育活動を展開してきた。 特に、教科指導においては、アクティブラーニングによる主体的な英語コミュニケーション能力（スピーキング能力）の育成、ＩＣＴの積極的な活用、地域の小中高連携事業への協力等、本道並びに管内英語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。 令和元年度には、G20 観光大臣会合における高校生交流事業（提言）担当者として、力量を発揮し、また、令和３年度には国立教育政策研究所指定「教育課程実践検証協力校」事業において「指導と評価の一体化」に関する研究を推進し、中核的な役割を果たすとともに、北海道高等学校英語研究セミナー講師として、これまでの取組の成果を発表するなど、英語教育の振興と充実に大きく貢献し、その実践は高く評価されている。						
業績	令和元年度 令和３年度	G20 サミット高校生交流事業提言　ＥＳＳ発表者指導担当 国立教育政策研究所教育課程実践検証協力事業　評価と指導の一体化（外国語・英語）　授業者 北海道高等学校英語研究会（高英研）「講座 生徒への動機づけでふだん意識していること→ＺＯＯＭでやってみる」　講師委員						

※　年齢は令和４年（2022 年）４月１日現在

令和４年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管　内	日高	学校名	北海道浦河高等学校		校長名	齊　藤　雄　大	
氏　名（ふりがな）	舟　田　彩一朗（ふなだ　さいいちろう）	職　名	教諭	年　齢	39 歳	教職員経験年数	14 年
教育実践のタイトル	保健体育教育の指導充実の取組						
教育活動	長年にわたり高等学校教諭として、保健体育教育において卓越した専門性と指導力を発揮し、生徒の興味・関心を高め、生徒が主体的に学び、資質・能力を育む授業の実践に取り組むとともに、本校の授業改善に力を尽くしている。 特に、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践や、本校で作成している単元配列表を活用した保健体育科の各科目における単元の指導計画を作成し、観点別学習状況の評価の実施に先進的に取り組むなど、指導と評価の一体化の実現に向けた教育実践に積極的に取り組んでいる。 また、各種研究協議会等において実践発表を行いその成果を広く普及するとともに、令和３年度に北海道高等学校「未来を切り拓（ひら）く資質・能力を育む高校教育推進事業」における教科指導講座スペシャリストを務めるなど、本道における保健体育教育の充実・発展に大きく貢献した教育実践は高く評価されている。						
業績	令和元年度 令和３年度	和歌山県データ利活用コンペティション対象、和歌山県統計協会賞受賞 「VIEW next８月号」（（株）ベネッセコーポレーション発行）　寄稿 テーマ「自分で立てた問題解決のための仮説を、対話を通して検証し、自分に合った走法を見いだす」 北海道高等学校「未来を切り拓（ひら）く資質・能力を育む高校教育推進事業」教科指導　講座スペシャリスト 第 59 回北海道高等学校教育研究会保健体育部会　実践発表						

※　年齢は令和４年（2022 年）４月１日現在